

# 高温年におけるナシヒメシクイの発生経過

福島県農業総合センター 果樹研究所 病害虫科

## 1 部門名

果樹－その他－病害虫防除

## 2 担当者名

高橋佳大、阿部初紀、中村傑

## 3 要旨

近年の温暖化によりモモ、リンゴ、ナシ等を加害するナシヒメシクイの発生時期が長期化しており、防除時期の判断が難しくなっている。そこで高温年であった2023年、2024年のナシヒメシクイ雄成虫の誘殺盛期について推定したところ、各世代ともに平年値(平年気温による推定日)より大きく前進していることが明らかとなった。

(1) 性フェロモントラップ調査による越冬世代誘殺盛期は、平年値と比較して2023年は18日、2024年は12日前進しており、以降の各世代の誘殺盛期を有効積算温量に基づく予測プログラムを用いた推定では、平年値と比較して早まっており、第4世代では20日以上前進していた(表1)。

(2) 第5世代成虫の発生については今後確認を要する。

表1 ナシヒメシクイ雄成虫の誘殺盛期の推定

	越冬世代	第1世代	第2世代	第3世代	第4世代	第5世代	平均気温
2023年	4月11日	6月13日	7月12日	8月5日	8月27日	9月18日	23.6℃
(平年差)	(-18日)	(-8日)	(-12日)	(-14日)	(-22日)	(-)	(+4.4℃)
2024年	4月17日	6月13日	7月13日	8月6日	8月29日	9月27日	22.9℃
(平年差)	(-12日)	(-8日)	(-11日)	(-13日)	(-20日)	(-)	(+3.7℃)
平年値	4月29日	6月22日	7月24日	8月19日	9月18日	-	19.2℃

※1 起算日：フェロモントラップ調査による越冬世代成虫の誘殺盛期の実測値。  
第1世代以降は各世代誘殺盛期の推定値を用いた(演算方法は三角法)。

※2 気象データ：果樹研究所気象データを用い、平年値は1991～2020年の平均。

※3 平均気温は調査期間(4月1日～10月31日)の平均。

## 4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和3～7年度
- (2) 研究課題名 果樹病害虫の防除法改善

## 5 主な参考文献・資料

- (1) 吉田ら, ナシヒメシクイはナシ果実に9月下旬頃まで食入する, 令和3年度参考となる成果